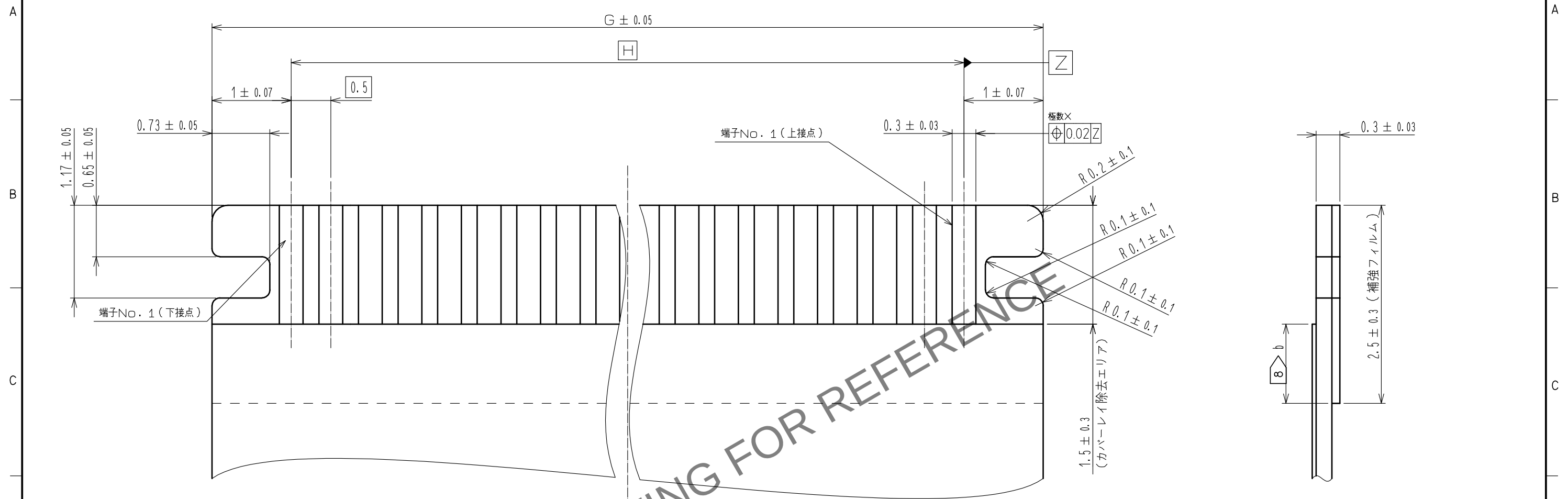
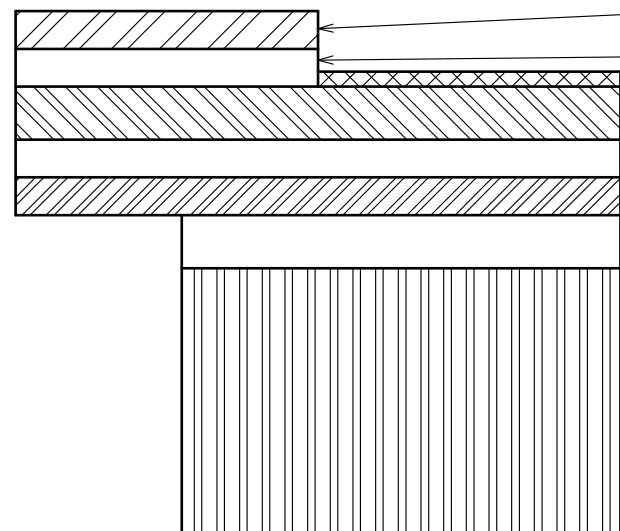




推奨FPC寸法図 (20:1)



FPC部材構成例 (FREE)



材料名	材質	厚み(μm)
カバーレイフィルム	ポリイミド 1mil	25
カバー接着剤		25
表面処理	ニッケル下地 1~5μm +金めっき 0.2μm	(3)
導体 圧延銅	Cu 1oz	35
ベース接着剤	熱硬化接着剤	25
ベースフィルム	ポリイミド 1mil	25
補材接着剤	熱硬化接着剤	35
補強フィルム	ポリイミド 7mil	175

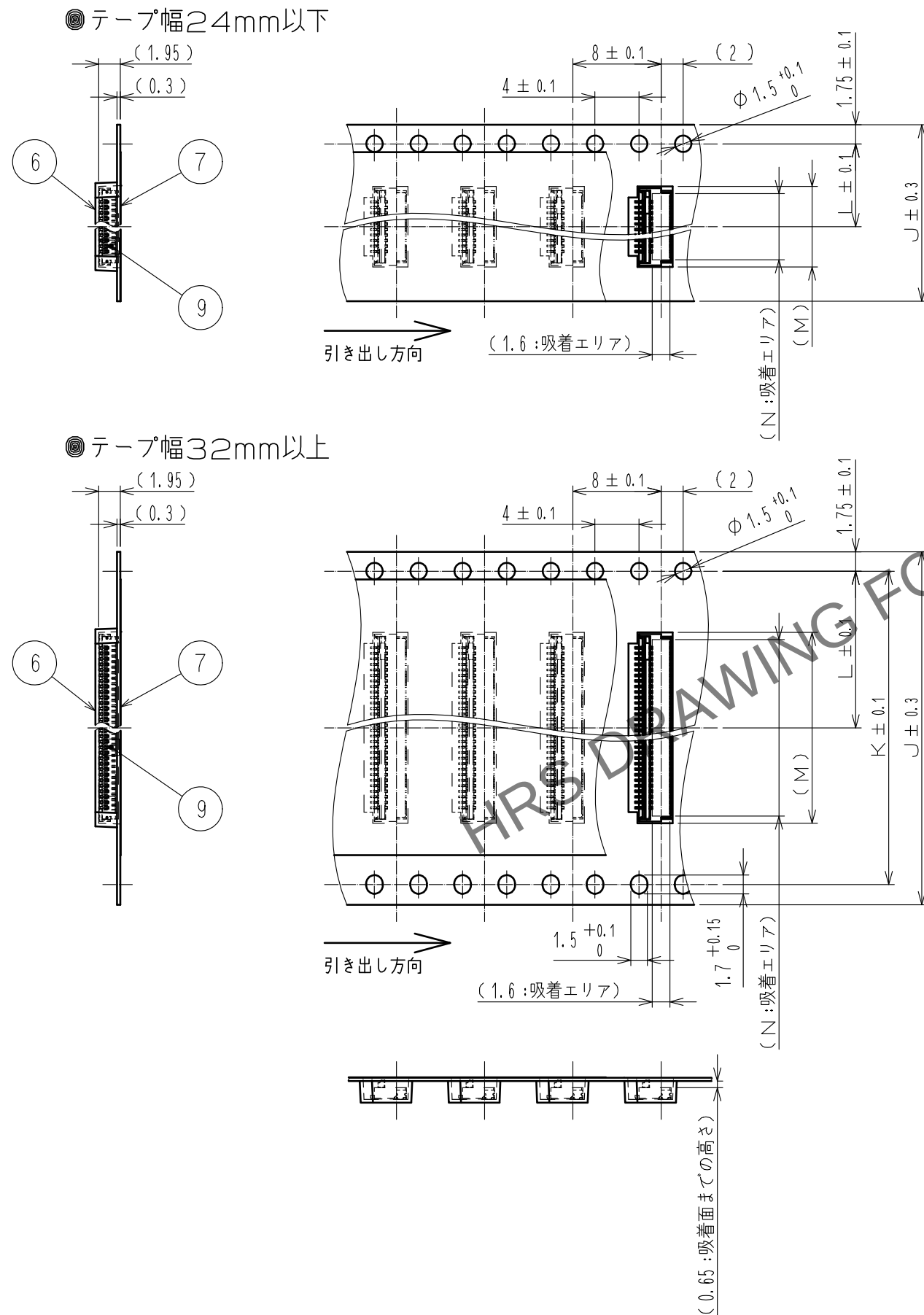
注 8) b寸法を0.5mm以上としてください。
9) 金型の抜き方向は導体側から補強フィルム側を推奨します。

<FPC寸法図>

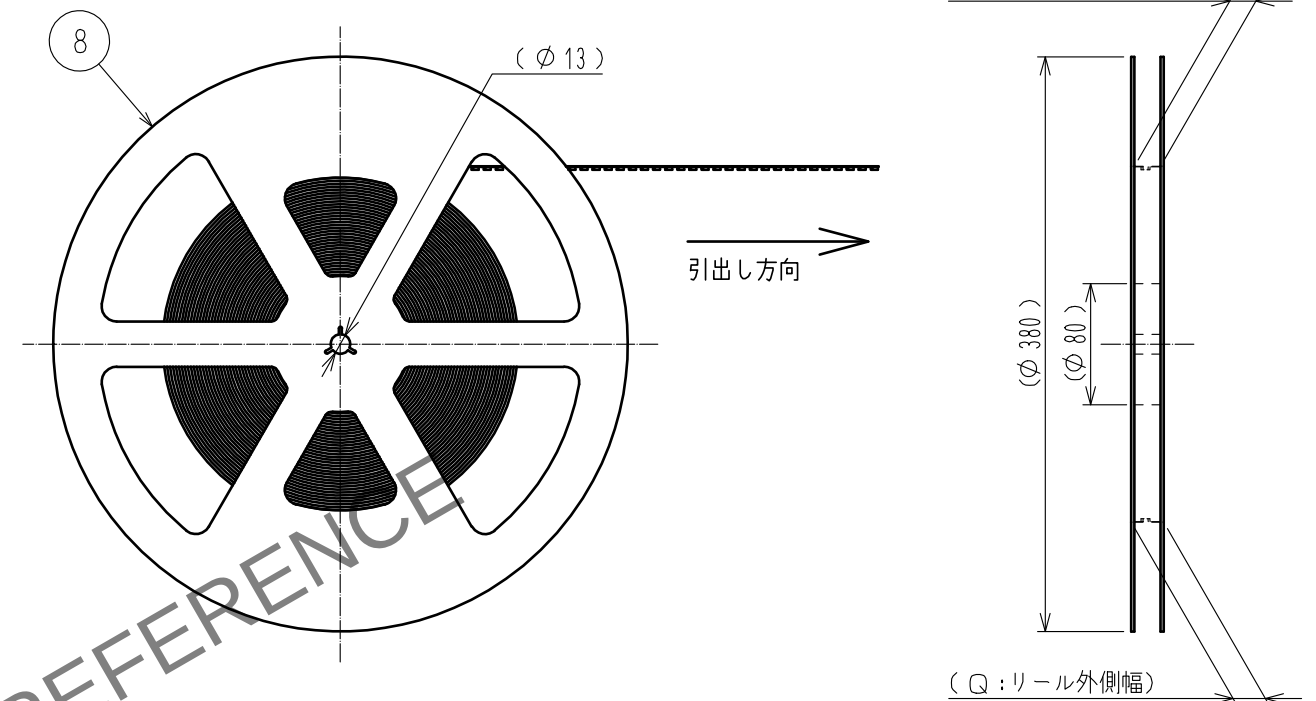
	DRAWING NO. ADC-387736-50-00		
	PART NO. FH34D-*S-0.5SH<50>		
	CODE NO. CL580		

May.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

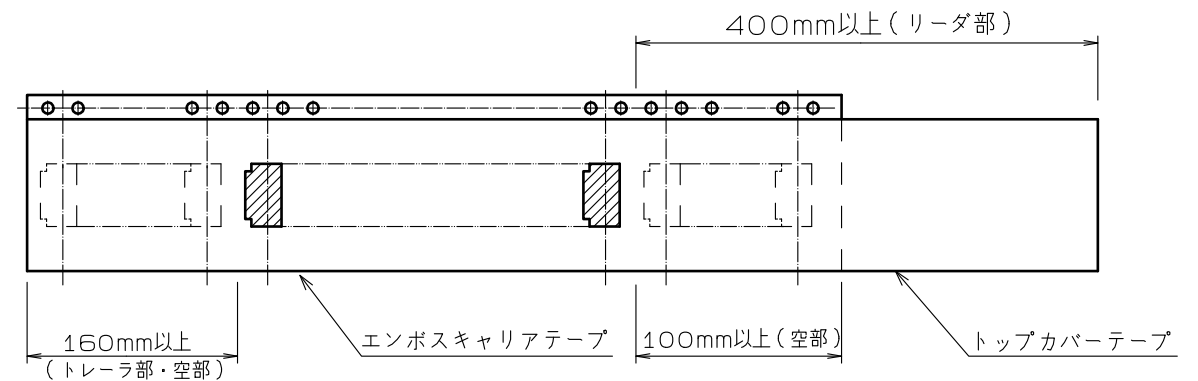
エンボスキャリアテープ寸法図 (2:1)



リール状態寸法図 (FREE)



リーダ部、トレーラ部寸法図 (FREE)



- 注 10 1リール 5000個梱包とします。
11 本梱包は、JIS C 0806(IEC-60286-3)に準拠しています。
(自動実装用部品のパッケージング)

< 梱包仕様図 >

HRS	DRAWING NO.	ADC-387736-50-00
	PART NO.	FH34D-*S-0.5SH<50>
	CODE NO.	CL580
		△ 6 3 9

May.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

製品名	CLコード	極数	コネクタ、ランド、メタルマスク、FPC寸法								梱包仕様図寸法						
			A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q
FH34D-2S-0.5SH(50)	-	2	4	1.5	2.53	3.38	3.1	3.9	2.5	0.5	16	—	7.5	4.3	3	17.4	21.4
FH34D-3S-0.5SH(50)	-	3	4.5	2	3.03	3.88	3.6	4.4	3	1	16	—	7.5	4.7	3.5	17.4	21.4
FH34D-4S-0.5SH(50)	CL580-1274-0-50	4	5	2.5	3.53	4.38	4.1	4.9	3.5	1.5	16	—	7.5	5.3	4	17.4	21.4
FH34D-5S-0.5SH(50)	-	5	5.5	3	4.03	4.88	4.6	5.4	4	2	16	—	7.5	5.8	4.5	17.4	21.4
△△ FH34D-6S-0.5SH(50)	CL580-1275-0-50	6	6	3.5	4.53	5.38	5.1	5.9	4.5	2.5	16	—	7.5	6.3	5	17.4	21.4
FH34D-7S-0.5SH(50)	-	7	6.5	4	5.03	5.88	5.6	6.4	5	3	16	—	7.5	6.7	5.5	17.4	21.4
FH34D-8S-0.5SH(50)	CL580-1271-0-50	8	7	4.5	5.53	6.38	6.1	6.9	5.5	3.5	16	—	7.5	7.3	6	17.4	21.4
FH34D-9S-0.5SH(50)	-	9	7.5	5	6.03	6.88	6.6	7.4	6	4	16	—	7.5	7.8	6.5	17.4	21.4
FH34D-10S-0.5SH(50)	CL580-1270-0-50	10	8	5.5	6.53	7.38	7.1	7.9	6.5	4.5	24	—	11.5	8.3	7	25.4	29.4
FH34D-12S-0.5SH(50)	CL580-1272-0-50	12	9	6.5	7.53	8.38	8.1	8.9	7.5	5.5	24	—	11.5	9.3	8	25.4	29.4
△△ FH34D-14S-0.5SH(50)	CL580-1276-0-50	14	10	7.5	8.57	9.38	9.1	9.9	8.5	6.5	24	—	11.5	10.3	9	25.4	29.4
△△ FH34D-16S-0.5SH(50)	CL580-1277-0-50	16	11	8.5	9.57	10.38	10.1	10.9	9.5	7.5	24	—	11.5	11.3	10	25.4	29.4
FH34D-18S-0.5SH(50)	-	18	12	9.5	10.57	11.38	11.1	11.9	10.5	8.5	24	—	11.5	12.3	11	25.4	29.4
FH34D-20S-0.5SH(50)	CL580-1273-0-50	20	13	10.5	11.57	12.38	12.1	12.9	11.5	9.5	24	—	11.5	13.3	12	25.4	29.4
△△ FH34D-24S-0.5SH(50)	CL580-1278-0-50	24	15	12.5	13.57	14.38	14.1	14.9	13.5	11.5	24	—	11.5	15.3	14	25.4	29.4
△△ FH34D-30S-0.5SH(50)	CL580-1279-0-50	30	18	15.5	16.53	17.38	17.1	17.9	16.5	14.5	32	28.4	14.2	18.3	17	33.4	37.4
FH34D-32S-0.5SH(50)	-	32	19	16.5	17.53	18.38	18.1	18.9	17.5	15.5	32	28.4	14.2	19.3	18	33.4	37.4

＜寸法一覧表＞

HRS	DRAWING NO.	ADC-387736-50-00														
	PART NO.	FH34D-*S-0.5SH(50)														
	CODE NO.	CL580												△6	4	9

May.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

本コネクタは、小型・薄型製品で、かつバックフリップ構造を採用しており、その取り扱いについて注意が必要です。
コネクタやFPCの破損、接触不良（かん合不良、FPCパターンの断線）を防ぐ為、以下の内容をご確認の上ご使用ください。
なお、注意書きに記載されている各値は、製品規格とは異なります。

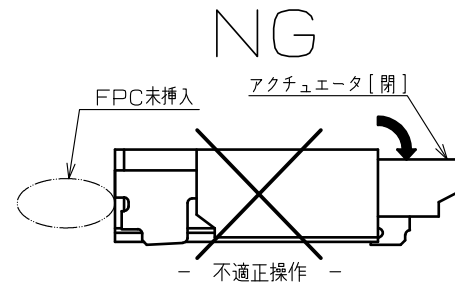
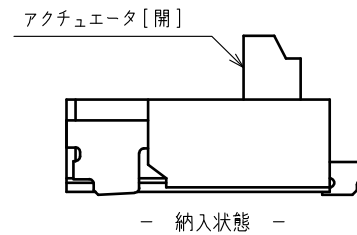
【コネクタ操作方法と注意点】

1. 初期納入状態

アクチュエータ開放状態で納入となりますので、
FPCを挿入する前に、ロックを操作する必要はありません。

【注意】

- ・FPC未挿入状態でアクチュエータを閉じないようにしてください。
FPC未挿入状態でアクチュエータを閉じると、接点ギャップが狭くなり
FPC挿入力が上昇することがあります。
- ・基板未実装の状態でコネクタの操作を行わないでください。

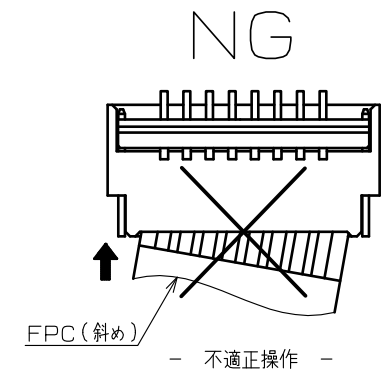
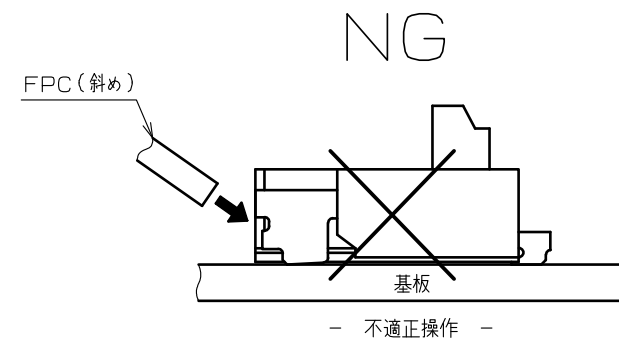
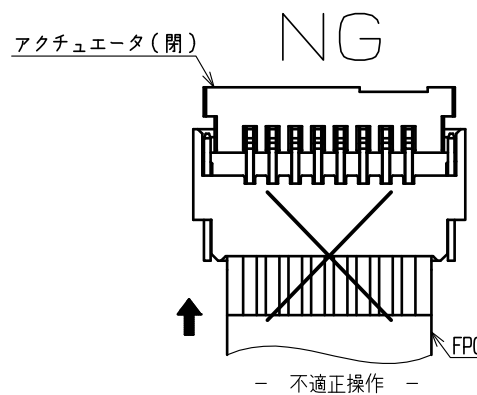
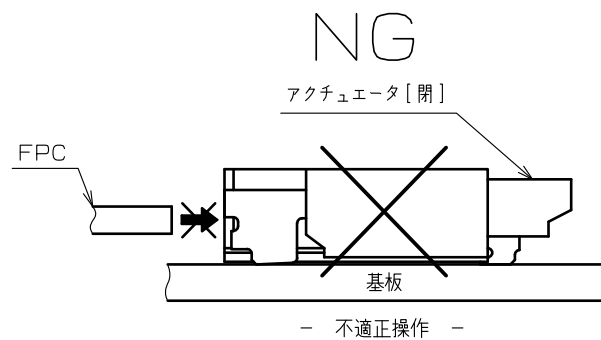
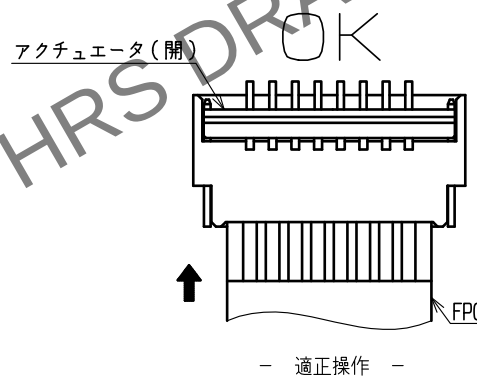
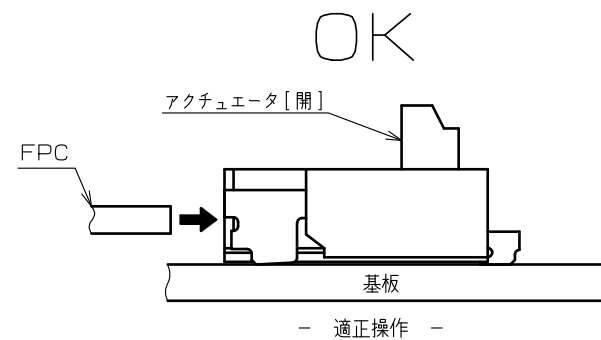


2. FPC挿入方法

FPCは、基板面に対して水平になるようにし、奥まで確実に挿入してください。

【注意】

- ・アクチュエータが開いた状態のままでFPCを入れてください。
- ・挿入の際、上下、左右、斜め方向にこじらないでください。

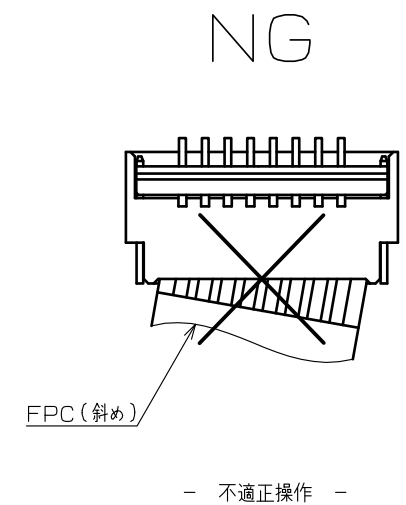
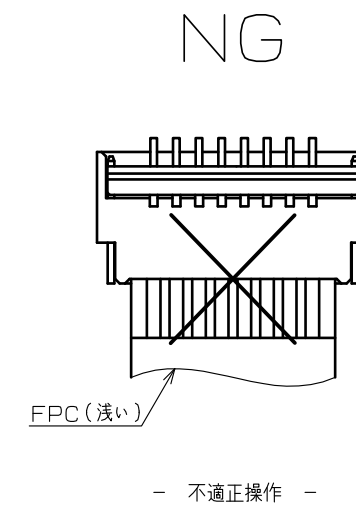
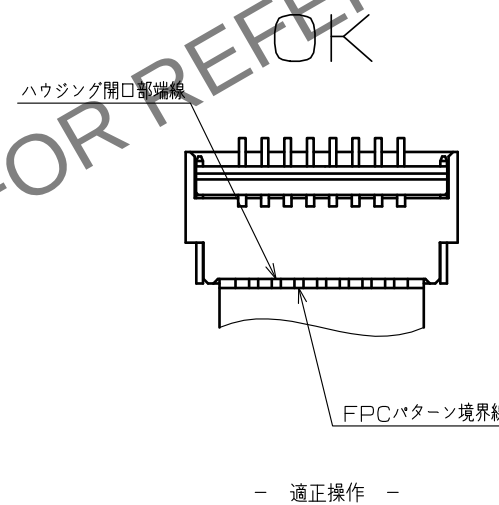


3. FPC挿入確認（FH34S*（上接点）専用パターンのみ）

ハウジング開口部の端線とFPCパターン境界線を目視比較することにより、
斜め挿入、浅挿入状態を防止することができます。

【注意】

- ・FPCの浅挿入や斜め挿入にならないようにしてください。



<取り扱いのご注意（1）>

HRS

DRAWING NO.	ADC-387736-50-00
PART NO.	FH34D-*S-0.5SH(50)
CODE NO.	CL580

6/5/9

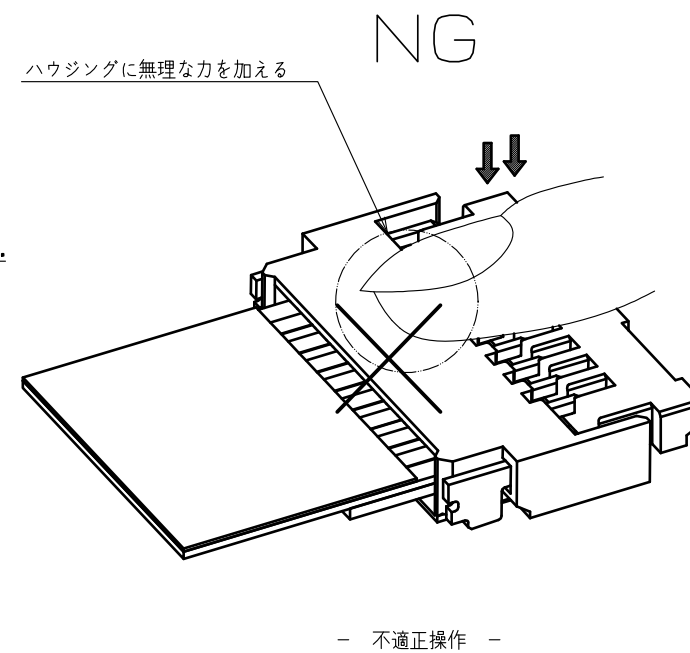
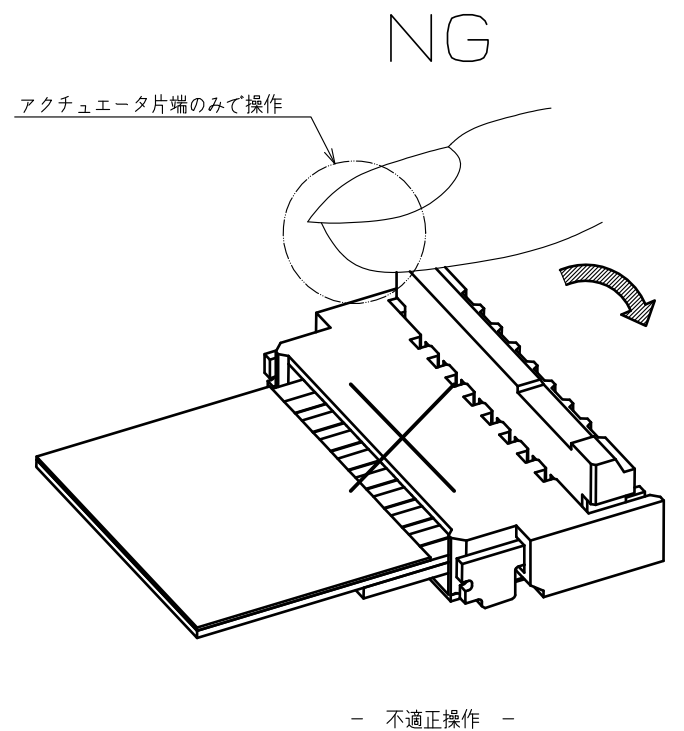
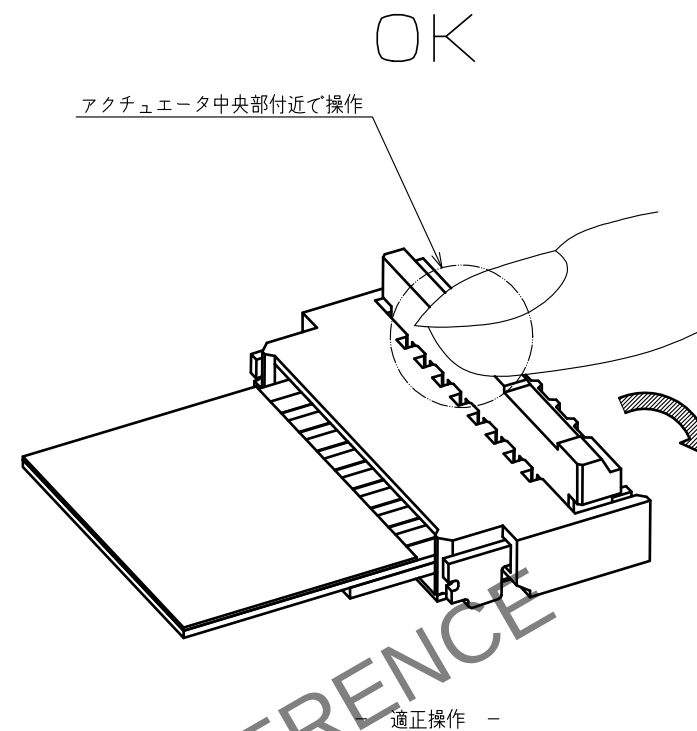
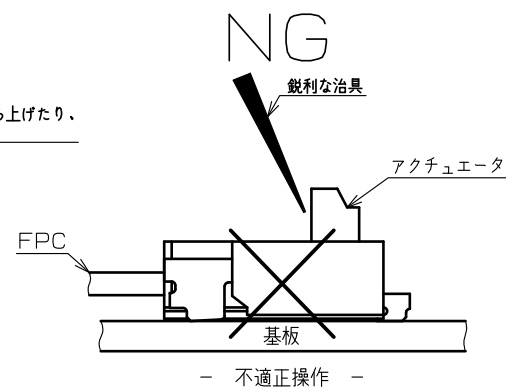
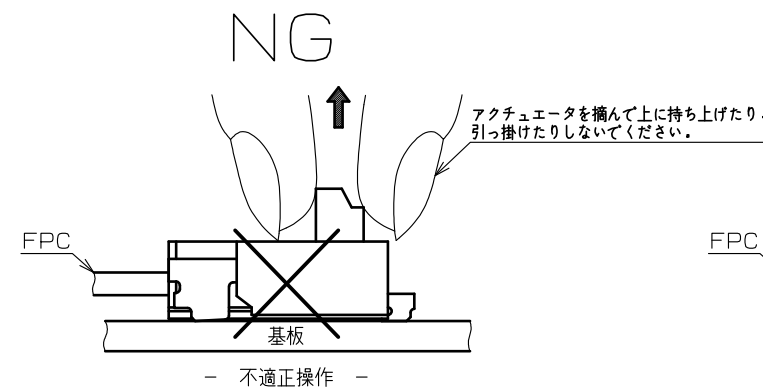
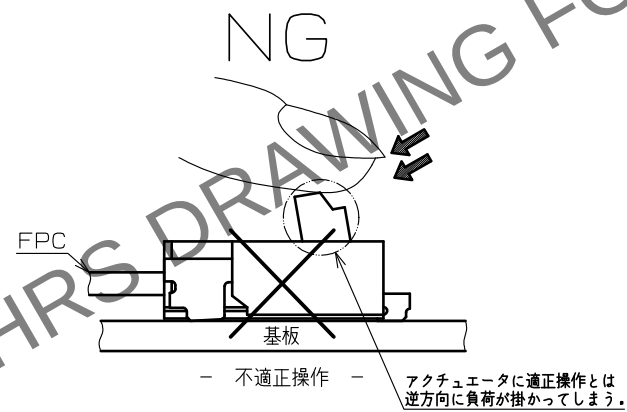
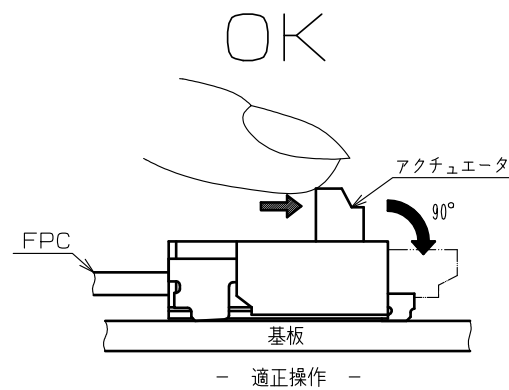
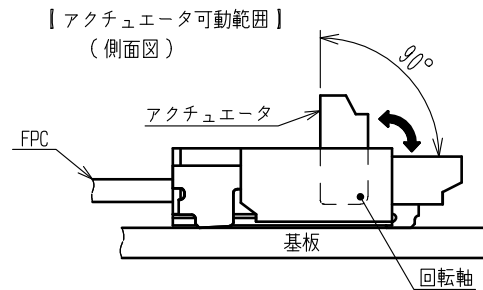
May.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

4. ロック方法

FPC挿入後、回転させる要領でアクチュエータを操作し、90°回転させてください。

【注意】

- ・アクチュエータは下図のように回転軸を中心に回転します。
- ・アクチュエータを閉じる方向とは逆の方向に操作させないでください。
また、アクチュエータを摘んで上に持ち上げたり、引っ掛けたりしないでください。
- ・アクチュエータの操作は必ず手で行い、ピンセット等、鋭利な治具で操作しないでください。
- ・ロック時、アクチュエータの中央部付近を操作してください。
- ・ロック時、アクチュエータの片端側だけを操作しないでください。
- ・作業時にハウジングに無理な力が加わらないようにしてください。



<取り扱いのご注意(2)>

HRS

DRAWING NO.	ADC-387736-50-00
PART NO.	FH34D-*S-0.5SH(50)
CODE NO.	CL580

6/9

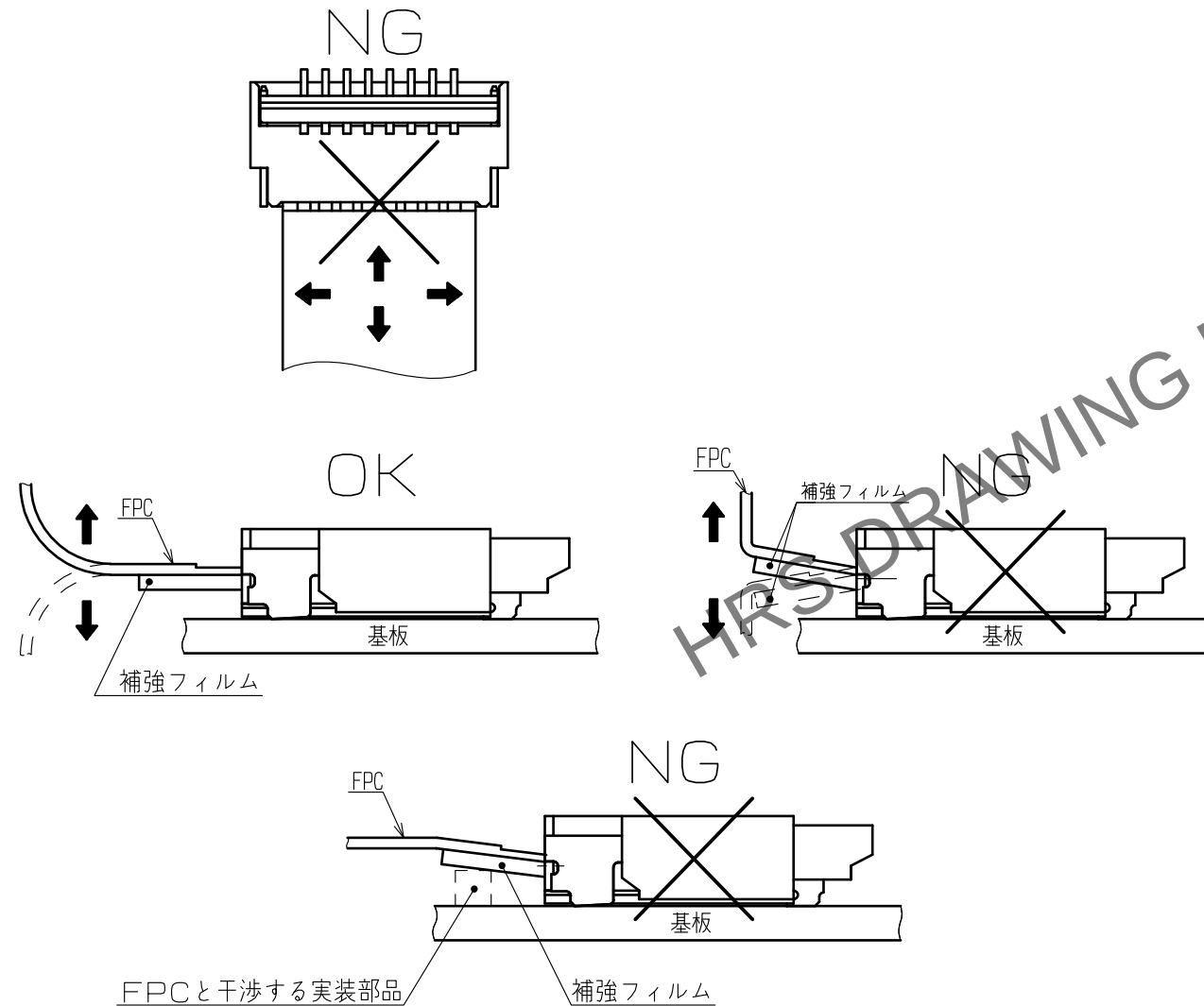
May.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

【基板レイアウトのご注意】

かん合するFPCの引き回しによっては、コネクタに負荷が加わり、接触不良等の不具合に繋がる可能性があります。
不具合防止の為、機構設計上、下記項目にご配慮いただけますようお願いいたします。

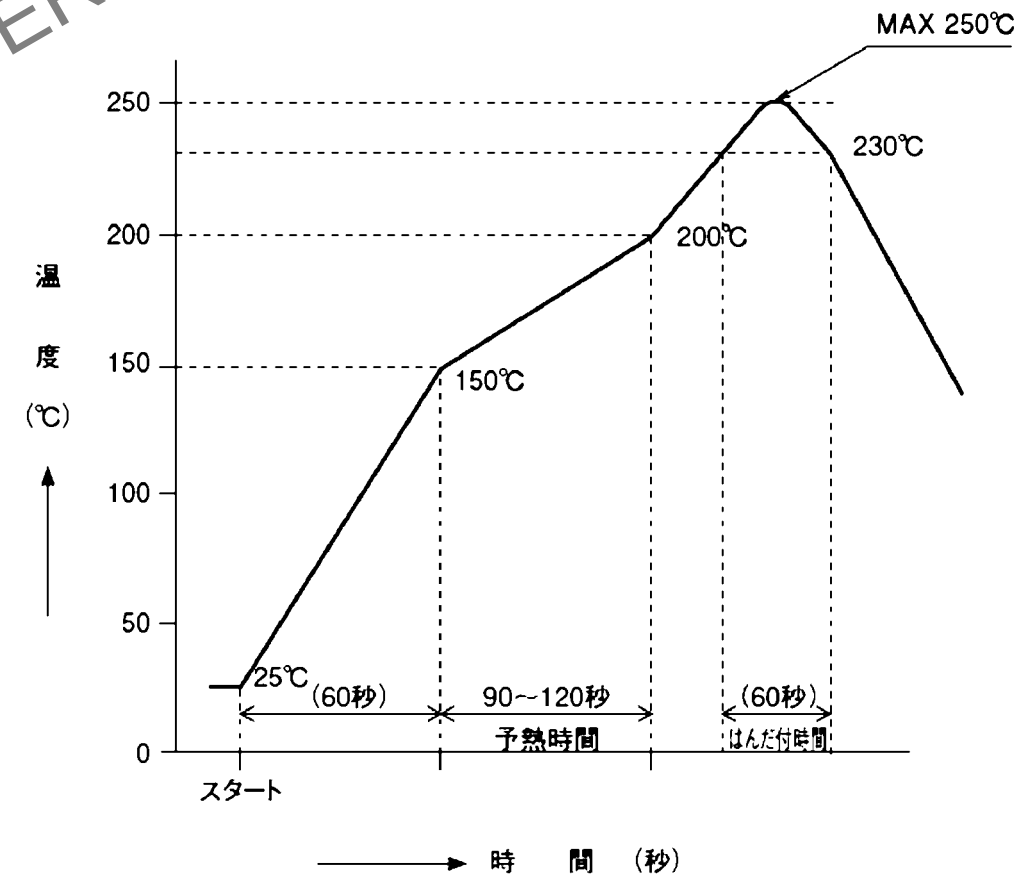
【注意】

- ・コネクタに引張り・挿入・横方向へ負荷が加わらないようご配慮をお願いします。
極端な上下方向への引張り力、押上げ力等が加わらないようご配慮をお願いします。
- ・FPCを引き回して使う場合、FPCを引っ張らず余裕を持たせて引回しをして頂けますようお願いいたします。
その際、補強フィルムが基板面に対して水平になるようご配慮をお願いします。
- ・FPCを引き回して使う場合、コネクタに直接負荷が加わらないようにFPCを引き回してください。
コネクタの付近でFPCが屈曲した状態でご使用になると、接触不良やFPCの破損・断線の原因となります。FPCを固定するなどの配慮をお願い致します。
- ・FPC下に干渉するような実装部品を配置しないでください。
- ・FPCの屈曲性については、FPCメーカー様と擦り合せをお願い致します。
- ・FPCが斜め挿入にならないように、レイアウト設計時にFPC挿入スペースを確保できるように配慮をお願い致します。また、FPCが短すぎても挿入が難しくなりますので、適切なFPCの長さや部品レイアウトをお願い致します。
- ・基板・レイアウト設計の際は、アクチュエータが倒れるスペースや、操作に必要なスペースの確保をお願い致します。
- ・推奨と異なる寸法や形状のFPCを使用する際は弊社営業担当へ使用可否をご相談ください。



【基板実装時のご注意】

- ・実装基板ランド形状、メタルマスク開口形状、FPC形状は、弊社推奨をご確認ください。
- ・ランドが弊社推奨よりも狭い場合や、メタルマスク開口が弊社推奨よりも広い場合、はんだ（フラックス）上がりが起きやすくなります。
弊社推奨パターンと相違する場合は、実装状態をご確認の上ご使用ください。
- ・端子リード下面とモールド下面との段差（スタンドオフ）は（0.03）となっております。
コネクタ下面にシルク印刷等がある場合、コネクタ下面を押し上げ、はんだ未着、はんだフィレット形成不良になる可能性があります。
コネクタ下面にシルク印刷等がある場合は、実装状態をご確認の上ご使用ください。
- ・基板の反り量は極力抑えるようにしてください。
本コネクタの平坦度は0.1mm以下ですが、基板の反り量が大きいとのはんだ付け不良となることがあります。
- ・FPCへ実装する際は、必ず補強板を設け、取り扱い易いものにしてください。
補強板は、ガラスエポキシ材で厚さ0.3mm以上を推奨いたします。
- ・エンボスをリールから引き出す際や、エンボスからコネクタを吸着する際など、実装前のコネクタに過度な外力を加えないでください。（0.5N以下）
- ・推奨リフロープロファイルは以下の通りです。
クリームはんだの種類、メーカー、基板サイズ、その他の実装部材等の条件により実装状態が変わる可能性があります。
実装状態をご確認の上ご使用ください。
温度はコネクタリード部近辺の基板表面温度を表します。
リフロー方式：1回リフロー
2回以下



<取り扱いのご注意（4）>

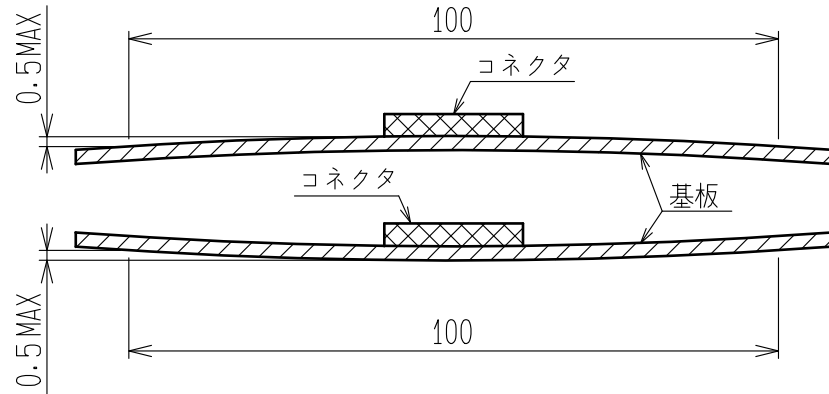
HRS

DRAWING NO.	ADC-387736-50-00
PART NO.	FH34D-*S-0.5SH(50)
CODE NO.	CL580

6/8/9

【実装後の基板取り扱いのご注意】

- ・「多数取りの基板を割る」、「基板をネジ留めする」といったアッセンブリ工程で、基板に負荷を加えないでください。コネクタに負荷が加わり、破損する可能性があります。
- ・基板幅100mmにおいて、基板のたわみが0.5mm以下の条件でご使用ください。基板がたわむことによって、コネクタに負荷が加わり、破損する可能性があります。

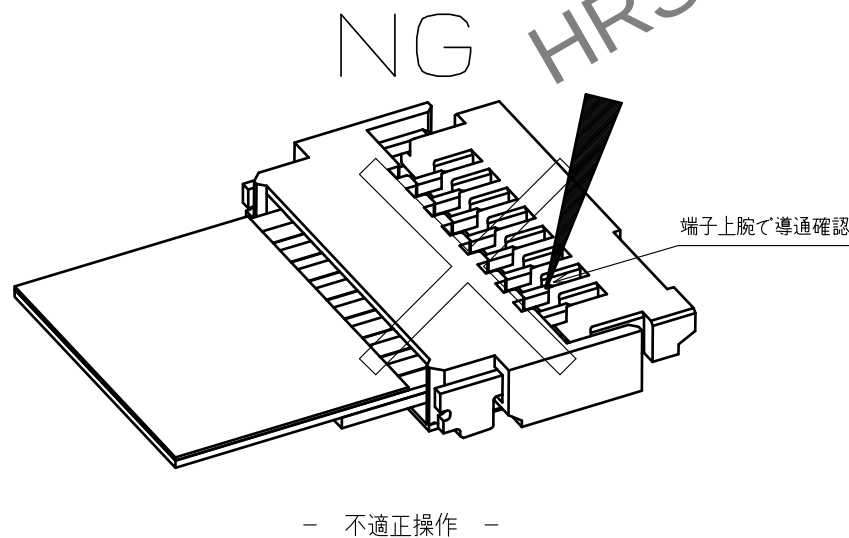


【手はんだのご注意】

- ・過度の熱を加えたり、はんだコテがコネクタの端子リード部以外に触れないように注意してください。コネクタが変形したり溶ける原因になります。
- ・過度のはんだ（フラックス）は供給しないでください。端子にはんだ（フラックス）を供給しすぎるとはんだやフラックスが接点やアクチュエータの回転部に付着し、接触不良やアクチュエータの回転動作不良の原因となります。また、補強金具にもはんだを供給し過ぎるとアクチュエータの回転動作に支障が出てコネクタ破損の原因となります。

【その他のご注意】

- ・端子の接点部に異物が付着することによって接触不良が起きた際、FPCを押し直すことで接触不良が解消する場合があります。
- ・コネクタの信号端子に電気検査を実施する場合はご注意ください。端子変形の原因となる場合があります。



<取り扱いのご注意（5）>

HRS

DRAWING NO.	ADC-387736-50-00
PART NO.	FH34D-*S-0.5SH(50)
CODE NO.	CL580